

Medical Technology News

臨床検査室新聞

検査室の新聞を発行するにあたって
情報提供の環境づくり

この度、検査室から第一号の新聞を発行いたしました。

何故このような新聞を発行することにしたかと言いますと、医療スタッフの皆さん、特に看護師

さんを対象に検査情報の提供、そして検査内容および検査室をより理解していただきたいと思つた

からです。検査の基本やエビデンスに基づいたデータ、また疾患と検査の話など、役立つ情報をお伝えしたいと考えています。

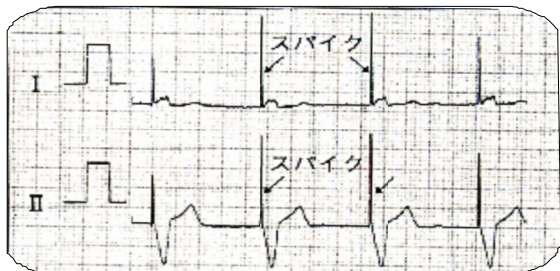
今後、月に一回の定期発行を予定しています。「継続は力なり」の言葉通り続けて発行する



LOOK

ペースメーカーの話

ペースメーカー心電図は波形の前にスパイク状の線が見られます。



ペースメーカー治療適応となる代表疾患には「洞機能不全症候群」、「完全房室ブロック」などがあります。前者は洞結節からの刺激が出ない状態で、この場合ペースメーカーは心房や心室が収縮するように刺激を与えます。後者は刺激が出て心室に全く伝わらない状態で、この場合心房の収縮を感知して適切なタイミングで心室が収縮するように刺激をあたえます。最近のペースメーカーには体動、呼吸、体温センサーなどで患者の状態を判断し自動的に刺激の回数などを調節する機能を持っているものもあります。このようなペースメーカーは刺激を出すだけの機械ではなく患者と気持ちがつながって体の一部になっている感じがします。



白血球について

ことを目標に頑張っていきたいと思つています。末永くご愛読いただくように、わかり易い表現と内容を心がけていきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



2009年7月
第1号
発行元 八雲総合病院
臨床検査室



ほと time

みなさんは岩手県にある「ほと湯田駅」って知っていますか？
駅に温泉施設が併設されていて旅の疲れを癒せるようになっています。

白血球は、好中球、リンパ球、単球、好酸球、好塩基球の総称です。細菌や異物が侵入して炎症が起こった際に食食作用や免疫作用を司る細胞です。白血球像(分画)は自動血球計数機や、血液標本を鏡検し各細胞の百分率で表します。好中球は、桿状核球、分葉核球に分かれ、細菌感染症による炎症が強い場合、桿状核球が増加し【核の左方移動】となり、重症例では幼若細胞が出現することもあります。また心筋梗塞等でも増加し、抗生剤、抗ガン剤等の薬剤、重症感染症等で減少します。また他の細胞の増加はリンパ球ではウイルス感染等、好酸

桿状核球	分葉核球	リンパ球	単球	好酸球	好塩基球

検査の基本

シリーズ採血管 その①

凝固線溶検査用採血管(黒キャップ)は、抗凝固剤(液体0.2ミリリットル)が入っていることを確認し、採血量線(2.0ミリリットル)まで正確に採血します。注射器採血の場合は先に注入しますが、翼状針の場合はチューブ内に約0.5ミリリットルの空気が入っている為、先に生化学用スピッツ等に採血してから、黒キャップの採血をしましょう。

球はアレルギー疾患や寄生虫、好塩基球は骨髄増殖性疾患等です。しかし採血不備でも機械で測定すると好塩基球が見かけ上増加する事があります。その時は【鏡検中】の報告をしています。

編集後記

検査室の第一号の新聞はいかがでしたか？
生まれたての、まだまだまだ未熟な新聞です。
みなさんのご意見、ご感想、またご希望などを肥やしに成長させて頂きたいと願っております。どうぞ何なりとお寄せくださいませ。